通訳案内士は、サービス業

通訳案内士の資格を持っていても、仕事が保障されるわけではない。通訳案内士が実践すべき数式は、以下につきます。

お客様が得る満足　≧　お客様が支払った金額

お客様の支払った金額　＝ ガイドが受け取る金額　＋　仲介業者が受け取る金額　＋　機会費用（交通費・宿泊費等滞在に要する経費）

① アジアからの観光客の滞在期間は、4～6日間で、20万円～27万円位が総支出額。
② 欧米からの観光客は7日～13日間の滞在期間は、34万円～42万円位の総支出額。
③　1日あたり3万円から5万円位の滞在費用が必要。10時間で割ると、1時間あたり3,000円～5,000円は、機会費用が必要

プロの通訳ガイドに求められるもの

① ガイドは、サービス業

・お客様の満足 ＞提供価格　なら、リピーターが増加

・旅程管理

・知識・表現力・気配り・楽しさなど、総合力が必要

② 質の高い知識

・高い語学能力（観光のテクニカルタームが必要）

・年代、地名、人名など固有名詞に頼らない国際感覚

・外国人にとって必要な、日本を理解させる知識

③ 自らの文化への誇り

・日本、歴史、文化、国民性について、誇りを持つこと

・技術、省エネルギー、リサイクル、平和などに現代的な視点

IJCEEの通訳案内士の能力活用システム

①　専門を生かした活動分野の開拓

・秋葉原、築地、両国、鎌倉など地域別
・通訳、翻訳、観光等
・食、着物、武道、茶道、書道、華道など
・ゼネラリスト（インセンティブツアーなど）

②　時間制の料金体系の導入

・２時間の最低料金
・１時間ごとの追加料金

③　評価システムの導入　2015年より

・新人研修時にプレゼンテーション演習の必修化
・評価システム　／　履歴等人材データバンク　／　アサイン
・スキルアップにより再評価